

Q. 地鶏はどのような鶏ですか？
普通の鶏と何が違うのですか？



A. 種・育成期間・育成方法が異なります。

「地鶏」の定義は、日本農林規格（JAS）で決められています。
地鶏と認定されるには、4つの条件をすべて満たす必要があります。

- 素雛は在来種（下記に記載）由来の血液が50%以上のもの
- 飼育期間は孵化日から75日以上のもの
- 飼育期間は28日齢以上平飼いしていること
- 飼育密度は、28日以降は1平方メートル当たり10羽以下で飼育していること

【在来種一覧】

- 会津地鶏・伊勢地鶏・岩手地鶏・インギー鶏・烏骨鶏・鶉矮鶏・ウタイチェーン
- エーコク・横斑プリマスロック・沖縄髯地鶏・尾長鶏・河内奴鶏・雁鶏・岐阜地鶏
- 熊本種・久連子鶏・黒柏鶏・コーチン・声良鶏・薩摩鶏・佐渡髯地鶏・地頭鶏
- 芝鶏・軍鶏・小国鶏・矮鶏・東天紅鶏・蜀鶏・土佐九斤・土佐地鶏・対馬地鶏
- 名古屋種・比内鶏・三河種・蓑曳矮鶏・蓑曳鶏・宮地鶏・ロードアイランドレッド

「普通鶏」は若鶏、ブロイラーとも呼ばれ「食用専用種」として開発・改良された鶏です。
孵化日から48～55日飼育され、年間6億数千万羽が出荷されています。

また、「〇〇鶏」「〇〇ハープ鶏」「〇〇赤鶏」などの銘柄のついた鶏もありますが、
「銘柄鶏」＝「地鶏」ではありません。

「銘柄鶏」は鶏種は普通鶏と同じですが飼料や飼育方法を工夫することで差別化した鶏です。



日本三大地鶏

日本三大地鶏とは、地鶏の中でも特に有名な3つの銘柄をいいます。

- 名古屋コーチン
- 比内地鶏
- さつま地鶏